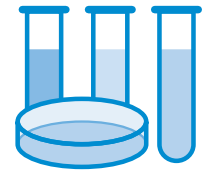


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

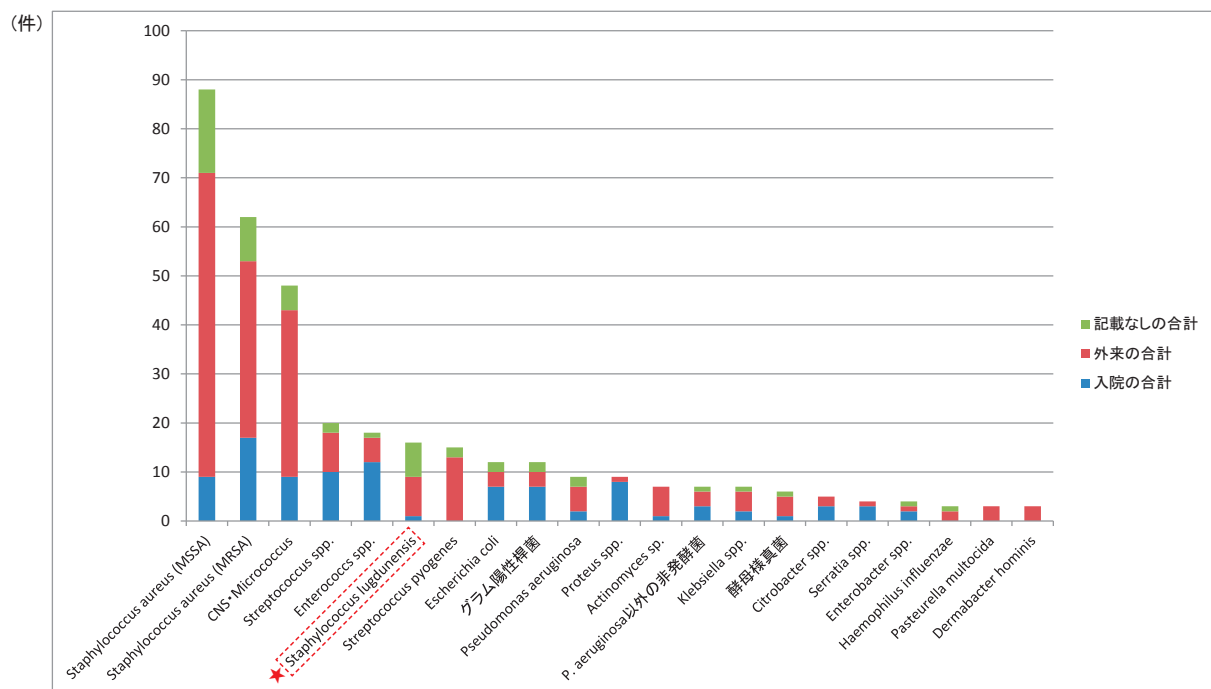


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、膿の細菌検出状況と薬剤耐性菌分離状況について掲載いたします。

【細菌検出状況】

【膿】細菌検出状況 2019年11月



Staphylococcus lugdunensis は、2019年 2 月に質量分析装置 (MALDI Biotyper) を導入して菌名のご報告が可能になった菌の一つです。コアグララーゼ陰性ブドウ球菌 (CNS) の一種であり、膿瘍形成の病原菌として最近注目されるようになった菌です。当検査センターでも様々な材料から検出されていますが、特に膿から多く検出されています。

創感染、脳膿瘍、心内膜炎、菌血症の原因菌となることがありますので、注意が必要です。

【薬剤耐性菌分離状況】

2019年11月分

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数
ESBL(基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	42%	13	12%	5	29%	107	40%	4	10%	2
	Klebsiella pneumoniae	7%	4	0%	0	7%	5	0%	0	0%	0
	Proteus mirabilis	69%	18	0%	0	32%	10	33%	1	50%	6
	Klebsiella oxytoca	33%	2	0%	0	7%	1	100%	1	0%	0
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		0%	0	0%	0	0.19%	1	0%	0	0%	0
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)※1		59%	163	38%	9	47%	17	50%	7	33%	102
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	5%	1
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性H.influenzae)		18%	46	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性H.influenzae)		5%	12	0%	0	0%	0	0%	0	5%	1
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラバン酸耐性H.influenzae)		0.77%	2	0%	0	0%	0	0%	0	5%	1

上記の薬剤の耐性率算出方法

$$\text{耐性率} = (\text{材料別耐性菌件数}) \div (\text{材料別対象菌件数}) \times 100$$

$$\text{※1 耐性率} = (\text{材料別MRSA件数}) \div (\text{材料別黄色ブドウ球菌件数}) \times 100$$

11月にバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)が1件検出されています。VREとはバンコマイシンに対して耐性を獲得した腸球菌です。临床上重要なVREは、耐性遺伝子のvanA、vanBを獲得した*Enterococcus faecalis*、*Enterococcus faecium*で、この遺伝子が伝達性プラスミドを介して菌から菌へ伝達される可能性があるため院内感染対策上重要となります。

VRE感染症は五類感染症の全数把握対象疾患のため、検出された材料によっては届出が必要となります。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/

検査科微生物係